

『囚人と狂気』が2020年度サントリー学芸賞 (思想・歴史部門)を受賞しました！

第36回(2019年)渋沢・クローデル賞とのW受賞となります。

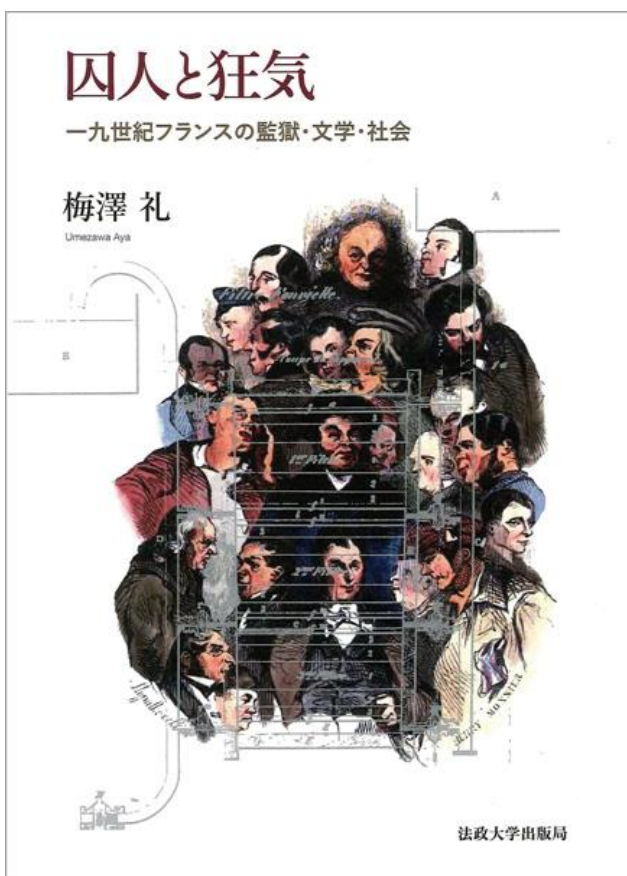
囚人と狂気

一九世紀フランスの監獄・文学・社会

梅澤 礼 著

1843年、七月王政下の議会に提出された監獄法案は、少年と老人を除く全囚人を独房に収監するというものだった。囚人の社会復帰をめざす理想の監獄とその挫折をめぐる、新聞や学術論文、議事録、回想録や文学作品に表れた多様な論争的言説を掘り起こし、独房で精神を病んだ囚人が〈非理性〉や植民地へと追放されてゆく過程をたどる。犯罪と近代文学成立をめぐる表象文化研究の稀少な成果！

A5版・上製・318頁／本体5400円
2019年3月刊行



法政大学出版局 行き

F A X 03-5214-5542

貴店名・帳合	法政大学出版局	返条付注文
	<p>W受賞・専用帯を付けて出荷致します</p> <p>囚人と狂気</p> <p>978-4-588-37605-4 5,400円</p>	冊

*部数を調整させていただく可能性もございますので、あらかじめご了承ください。

W受賞・専用帯のみ (要 → ○ 枚) ご担当 様